

に居レルヲ以テ六月廿三日臨時休業ヲ宣セリ

二 職工側

職工側ハ休業後爭議団本部ニ集合対策提議ヲ為スト
共ニ結束ニ努メ居レルガ目下ノ欠特異ノ行動ナシ

三 交渉状況

其ノ後労資相對峙スルノミニテ何等ノ行動ナカリシ
カ工場主直川辰次郎ト取引關係ヲ有スル安積、町田
ノ兩名ハ労資相互ノ間ヲ斡旋シ交渉ノ緒ヲ得セシム
ヘク盡カスル処アリ組合代表トシテ會見ヲ忌避セル工
場主モ漸ク納得スルニ至リ六月廿三日本所ニ横須
本所公会堂ニ於テ工場側直川工場主初山支配人及島
田ノ三名職工側熊本虎藏外四名岩倉町田安積ノ兩名

立會ノ下ニ會見交渉ヲ開始シ爭議団側ニ於テハ賃金
値下ノ不合理ナル旨ヲ述ベ併テ臨時休業爲スノ必要
ナキニ不拘休業セルハ不都合ナリト詰問スル処アリ
シカ工場側ニ於テハ採算繁キヲ以テ賃銀値下げハ已
ムヲ得ヤルモノナリト述ベ尚休業ニ就テハ職業等ガ
入場スルノミニテ徒ラニコークスヲ使用シ就業セザ
ルガ故ニ行ヘリト附加シ何等具体的事實ニ觸ルズ勞
資相互ニ詳細ナル調査ヲ遂ケタル上六月廿五日會所
ニ於テ會見ヲ約シテ散會セリ

而シテ六月廿五日前記ノ場所ニ工場側ハ直川、初山
島田ノ外ニ作業主任新沼賢吾ヲ加ヘ職工側ハ熊本係
藏外十名岩倉町田安積兩名モ列席シテ各自ノ調査